

「岩手県保健医療計画（2013-2017）」 疾病・事業以外の取組項目に係る進捗状況等

（取組項目） 患者の立場に立った保健医療サービスの向上に関する目標

ア 安全・安心な医療提供体制の構築

目標項目	現状値 (H24)	H25	目標値 (H29)
病院機能評価認定率 (%)	28.3	24.2	100.0
病院における医療安全管理者の配置率 (%)	93.6	92.3	100.0

[取組状況等]

- 各保健所において、次のとおり研修会を開催し、医療安全対策の推進を図った。

＜地域医療安全対策研修会 開催状況＞

保健所	開催日	参加者数	講演
県 央	25.12.14	185人	「医療におけるエラーマネジメントの考え方と実践的対策」 講師：自治医科大学メディカルシミュレーションセンター センター長 河野 龍太郎 氏
中 部	25.11.14	404人	「院内暴力対策～悪質クレーム対策を中心に～」 講師：筑波大学医学医療系 准教授 三木 明子 氏
奥 州	25.10.9	85人	「歯科医療における安全」 講師：東京医科歯科大学大学院 教授 深山 治久 氏
一 関	26.2.6	238人	「全ての医療機関に求められる、医療安全の支柱～高いリスクと信頼の中で～」 講師：名古屋大学医学部附属病院 部長教授 長尾 能雅 氏
大船渡	25.11.28	76人	「針刺し事故予防への対応について」 講師：県立大船渡病院 院長 伊藤 達朗 氏
釜 石	25.9.4	180人	「医療安全について」 講師：県立釜石病院 院長 遠藤 秀彦 氏
宮 古	25.9.28	105人	「医療施設等における感染症対策について」 講師：いわて感染制御支援チーム 近藤 啓子 氏
久 慈	25.10.10	160人	「医療メデイエーションとコンフリクトマネジメント」 講師：県立大船渡病院 伊藤 達朗 氏
二 戸	25.10.30	114人	「医療コミュニケーション～患者・家族と医療者を守るために～」 講師：奈良県立医科大学健康政策医学講座 助教 岡本 佐知子 氏

(取組項目) 良質な医療提供体制の整備、医療機関の機能分担と連携の推進に関する目標

ア 医療機関の機能分担と連携体制の構築

目標項目		現状値 (H24)	H25	目標値 (H29)
地域連携クリティカルパス参加医療機関数 (施設)	盛岡	90	95	108
	岩手中部	31	33	37
	胆江	18	18	21
	両磐	19	20	22
	気仙	0	9	5
	釜石	6	6	7
	宮古	5	5	6
	久慈	4	4	5
	二戸	4	4	5
地域医療支援病院数 (施設)		2	3	2

[取組状況等]

- ・質の高い医療が受けられる体制の整備に向けて、地域連携クリティカルパスの導入やICTの活用による地域医療機関相互の連携強化、診療体制の整備、県民と一体となった地域医療体制づくりの取組を進めてきた。

(取組項目) 保健医療を担う人材の確保・育成に関する目標**ア 医師・歯科医師**

目標項目	現状値 (H24)	H25	目標値 (H29)
病院勤務医師数 (人口10万対)	㉒117.5	㉔124.6	㉖125.3

イ 薬剤師

目標項目	現状値 (H24)	H25	目標値 (H29)
薬剤師数 (人口10万対)	㉒159.6	㉔167.5	㉘172.0

ウ 看護職員

目標項目	現状値 (H24)	H25	目標値 (H29)
看護職員数 (保健師、助産師、看護師、准看護師) (常勤換算) (人)	㉒15,704.4	㉔15,942.3	㉗17,170.6

[取組状況等]**(医師・歯科医師)**

- ・本県の医師数は、増加傾向にあるものの、全国水準と比較すると大きな格差があり、近年、その格差はますます拡大する傾向にあり、今後も、医師の確保に向けて、医師確保対策アクションプランに基づき、奨学金による養成や即戦力医師の招へい、勤務医の勤務環境向上対策、医学部への進学者を増やす取組を進めていく。

(薬剤師)

- ・本県の薬剤師数は、増加傾向にあるものの、全国水準と比較すると大きな格差があり、県内においても、医療圏ごとに偏在が見られる。薬剤師数が特に少ない沿岸地域においては、引き続き、一般社団法人岩手県薬剤師会と連携し、沿岸地域の薬剤師と薬学生の交流を実施するなど、薬剤師の確保に係る取組を進めていく。

(看護職員)

- ・看護職員の確保確保に向けて、修学資金の貸付などを実施しており、県内看護職員養成施設新卒者の県内就業率は向上している。今後も、いわて看護職員確保対策アクションプランに基づき、修学資金の貸付枠の拡大や県外就学者のUターン促進、県内就職支援ウェブサイトによる情報発信、潜在看護職員の活用促進などの取組を進めていく。

(取組項目) 地域保健医療対策の推進に関する目標

ア 感染症対策

目標項目	現状値 (H24)	H25	目標値 (H29)
結核罹患率 (人口10万対)	㉓8.9	11.5	8.0
C型肝炎ウイルス検査受検率(40歳～79歳)(%)	㉓46.9	51.6	50.0

イ 移植医療

目標項目	現状値 (H24)	H25	目標値 (H29)
骨髄提供希望者登録数 (人)	㉓3,208	㉕3,175	3,900

ウ 歯科保健

目標項目	現状値 (H24)	H25	目標値 (H29)
3歳児むし歯有病者率 (%)	26.5	24.3	㉔14.0
12歳児永久歯むし歯有病者率 (%)	38.7	34.9	㉔28.0

エ 母子保健医療

目標項目	現状値 (H24)	H25	目標値 (H29)
妊婦健康診査を8回以上受診した妊婦の割合 (%)	㉓80.4	㉔88.3	㉕84.0

オ 血液の確保・適正使用対策

目標項目		現状値 (H24)	H25	目標値 (H29)
献血数	全血献血 (本)	㉓62,668	68,076	岩手県献血推進計画において毎年度設定
	成分献血 (人)	㉓14,415	12,961	

※ 全血献血の種類には、200m l 献血と400m l 献血があるため、400m l 献血を200m l 献血2本として換算

カ 医薬品等の安全確保と適正使用対策

目標項目	現状値 (H24)	H25	目標値 (H29)
薬の情報センター相談受付件数 (件)	㉓2,010	4,580	2,250

キ 薬物乱用防止対策

目標項目	現状値 (H24)	H25	目標値 (H29)
薬物乱用防止指導員の実施する啓発運動への住民参加人数 (人)	㉓14,056	26,242	15,000

ク 医療に関する情報化

目標項目		現状値 (H24)	H25	目標値 (H29)
電子カルテを導入している 病院数 (施設)	盛岡	9	11	11
	岩手中部	4	4	5
	胆江	3	5	4
	両磐	4	4	5
	気仙	1	1	1
	釜石	0	0	2
	宮古	0	1	3
	久慈	1	1	2
	二戸	1	1	2

[取組状況等]

(感染症対策)

- 結核罹患率については全国平均を下回っており、長期的には横ばいとなっている。結核患者発生時に、患者周囲の接触者健診を効果的に行うとともに、結核患者のDOTS（直接服薬確認療法）を確実に行うことで、今後もより一層結核のまん延防止に取り組んでいく。
- C型肝炎ウイルス検査受検率は、検査の必要性等の啓発や市町村での検診、保健所及び委託医療機関での無料検査並びに事業所における出張型検査の実施等、受検機会の確保等により向上している。

(移植医療)

- 保健所において、移動献血併行型骨髄トナー登録会等を開催し、骨髄提供希望登録者数の増加を図っているものの、県全体の登録者数は微減しており、さらなる取組を進めていく必要がある。
※骨髄提供希望登録者数は、平成6年12月～各年度末までの登録者数の計から登録抹消者数を控除した人数

(歯科保健)

- 平成26年7月に策定した「イー歯トープ8020プラン（岩手県口腔の健康づくり推進計画）」に基づいて、引き続き子どもの歯科疾患の予防、生活習慣の改善の取組を進めていく。

(母子保健医療)

- 妊娠第32週未満の早産では、脳などに重篤な障がいを残すリスクが高まるため、市町村や保健所等との連携を推進しながら、特に第8回（妊娠第32週）までの妊婦健康診査の受診の更なる向上を図る。

(血液の確保・適正使用対策)

- 普及啓発活動において、400mL献血を重点的に推進したことにより、全血献血の献血者数は増加している。一方で、成分献血者数が減少していることから、普及啓発活動において、成分献血についても重点的に推進していく。

(医薬品等の安全確保と適正使用対策)

- 医薬品の副作用等に関する事項、漢方薬等に関する事項等に関する相談件数が増加している。「薬」に関する知識の普及を図るためにも、引き続き、健康管理講座を開催するなどの取組を進めていく。

(医薬品等の安全確保と適正使用対策)

- 啓発運動への住民参加が増加しており、岩手県薬物乱用対策推進本部を中心に関係機関と連携を図りながら、引き続き、啓発資材等を活用した普及啓発活動などの取組を進めていく。

〔取組項目〕 保健・医療・介護（福祉）の総合的な取組の推進に関する目標

ア 健康づくり

目標項目		現状値（H24）	H25	目標値（H29）
健康寿命の延伸（平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加）	男性	—	—	③④ ※
	女性	—	—	③④ ※
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群（千人）		②③166	—	②⑨H23比25%減
介護予防事業（二次予防事業）参加者割合（高齢者人口当たり）（%）		②②0.96	②④1.01	②⑥1.00

※ 目標項目「健康寿命の延伸（平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加）」については、次のとおり算定する。

$$\frac{(\text{健康寿命の増加分})}{(\text{平均寿命の増加分})} > 1$$

イ 医療費適正化

目 標		現状値（H24）	H25	目標値（H29）
住民の健康の保持の推進に係る目標	[再掲] 特定健康診査の受診率（%）	②②40.7	②④46.2	70.0
	[再掲] 特定保健指導の実施率（%）	②②17.4	②④16.7	45.0
	[再掲] メタボリックシンドロームの該当者及び予備群（千人）	②③166	②④166	②⑨H23比25%減
	[再掲] 成人の喫煙率の減少（%）	18.9	—	③④12.0
	[再掲] 受動喫煙の無い職場（受動喫煙防止対策を実施していない職場の割合）（%）	37.6	—	③④0.0
医療の効率的な提供の推進に係る目標	平均在院日数（介護療養病床を除く。）の短縮（日）	②③33.4	32.0	②⑨30.0

※ 成人の喫煙率の減少 出典：岩手県「県民生活実態調査」（調査周期5年）

※ 受動喫煙の無い職場の実現（受動喫煙防止対策を実施していない職場の割合の低下）

出典：岩手県「企業・事業所行動調査」（調査周期隔年）

〔取組状況等〕

- ・平成26年3月に策定した「健康いわて21プラン（第2次）」に基づき普及啓発を進めるなどして、県民の生活習慣の改善等の各種取組を進めていく。
- ・平均在院日数は短縮しているが、医療の効率的な提供の推進に向けて、引き続き医療機関の機能分化・連携体制の構築や在宅医療・地域ケアを推進する取組を行っていく。

(取組項目) 医療連携体制構築のための県民の参画に関する目標

ア 地域医療を支える県民の参画や取組の促進

目標項目	現状値 (H24)	H25	目標値 (H29)
大きな病院と診療所の役割分担の認知度 (%)	52.0	52.7	57.0
県立病院救急患者総数のうち当日帰宅措置患者の割合 (%)	㊸79.0	77.7	76.0
県民みんなで支える岩手の地域医療推進会議構成団体数 (団体)	90	90	100

[取組状況等]

- ・「大きな病院と診療所の役割分担の認知度」及び「県立病院救急患者総数のうち当日帰宅措置患者の割合」については、地域医療を支える県民運動における適正受診の普及啓発の推進により向上を図ってきたところ。なお、平成25年度における同運動は、震災による受診環境の変化を踏まえ、被災地における自らの健康管理の徹底や健診の受診奨励等を主な取組事項とした。
- ・「県民みんなで支える岩手の地域医療推進会議構成団体数」は横ばいであるが、平成25年度においては、同会議幹事会において、第3期（平成26年度～同28年度）の運動方針を定め、これまでの取組のさらなる展開に向けて運動の裾野拡大等に取り組んでいくこととしている。